

原書の序

安全な患者ケアには、良好なコミュニケーションが必要不可欠です。臨床コミュニケーションは患者と対面した際に行われますが、医療チーム内、およびチーム間の情報フローを通じても行われます。コミュニケーションの問題は、患者ケアの不満の大半を占めます。

最近の四半世紀において、優れたコミュニケーションスキルとその教育、評価のための根拠が確立され、臨床診療で遭遇するさまざまな患者や専門科との効果的なコミュニケーションに必要な資質を特定し、実証することができるようになりました。コミュニケーションは医学部のカリキュラムの中核部分です。これらのプログラムを早期に受けた学生は、今や実践者であり教師です。スキルを実践しロールモデルとなる人は徐々に増えています。

この本は、コミュニケーションスキルコースの一部として、または個人学習のために、医療系の学生と開業医向けのものとして作成しています。臨床コミュニケーションは、チーム内およびチーム間のコミュニケーション、記録、引き継ぎ、診察などに必要なスキルと関連しています。

臨床コミュニケーションは、患者とのラポールを形成するだけでなく、患者の満足度をあげます。また、患者の声に耳を傾けることで、病態や疾患を構成する解剖学的、生理学的変化に基づく知識や観点を理解できるようになります。多くの臨床データを集めることで、診断エラーが軽減し、よりよい治療、意思決定が可能となります。

この本は、英国のNational Health Service (NHS) でのわれわれの仕事を反映していますが、幅広い分野の国際的な著者の協力を得ることができました。この本を編集し、その過程において、患者、学生、同僚とのコミュニケーションをより理解することができ嬉しく思います。楽しく学んでいただければ幸いです。

2017年1月

Nicola Cooper
John Frain